

2025 年度次世代リーダーの人文知トライアル研修@国際日本文化研究センター

日時 2025 年 11 月 29 日（土）～30 日（日）

会場 国際日本文化研究センター 京都市西京区御陵大枝山町 3-2

研修費用 5 万円（宿泊・交通費等は含みません）

国際的日本人文化研究では世界最高の研究所。各国から集まる研究者により活発な研究が行われています。本研修では、クレインズ教授、磯田教授始め超一流の講師陣によるレクチャーと多彩な異業種交流から、日本文化を世界的な視野から俯瞰するとともに、内向きに自閉しがちな日本の課題にも迫ります。それぞれの人生観・仕事観をより豊かで深いものに！

「他者の眼差しによって自らを知る、多様な尺度によって他者を知る体験」



応援フォーラム

みんなで育てよう、
日本を支える

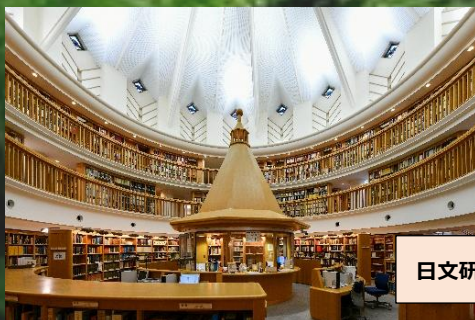
「知の力」

11:30 昼食・オリエンテーション
12:30 オープニング
12:45 — 休憩 —
13:00 Lecture I・図書館見学・セッション
フレデリック・クレインズ副所長
15:00 — 休憩 —
15:15 Lecture II・セッション
磯田 道史教授
17:00 — 休憩 —
17:15 諸連絡
17:30 懇親会「赤おに」
20:00 解散

1 日目

9:00 集合・諸連絡
9:15 Lecture III・セッション
片岡 真伊准教授
11:00 — 休憩 —
11:10 館内見学 井上 章一所長
11:40 座談会
井上 章一所長・大原 謙一郎理事
12:40 昼食・ヨガ・散策等
13:40 記念写真
13:50 グループワーク・まとめなど
14:50 — 休憩 —
15:00 プレゼン発表
16:15 振り返り・ループリック
16:45 クロージング
17:00 解散

2 日目



日文研図書室



日文研全容

昨年度研修参加企業・団体

NPO 法人 ISL (公)大原記念倉敷中央医療機構 嘉悦学園かえつ有明中・高等学校 喜多方市美術館 (公)サントリー文化財団
サントリー株式会社 (株)山陽新聞社 大学院大学至善館 (株)Staple (株)ちゅうぎんフィナンシャルグループ (株)中国銀行
日本文化伝承協会 (株)マツダアンフィニ青森 (株)三井住友銀行 など (五十音順・敬称略)

昨年度研修参加者の声

- 学術に関わる仕事をしているが、改めて「人文知」を考える時間、議論を持てて有意義だった。
- 普段、触れる機会のない分野の識者や異業種方々との交流や意見交換の機会が新鮮だった。
- 専門的な講義とグループディスカッションの配分、グループ人数等も適切で活発な議論ができた。
- 知・情・意・体のすべてが含まれており、自由で安心できる空間で深い学びになった。
- 得たい情報を取りに行くだけでは得られない、他者から見た情報や考えの大切さを体感できた。



お問合せ ■ 一般社団法人 人文知応援フォーラム 倉敷事務局

〒710-0055 岡山県倉敷市阿知 2 丁目 25-33 三楽会館内

TEL 086-436-7002 ✉ info@jinbunchi.or.jp

*申込・詳細は右記 QR コードから



次世代リーダーの人文知トライアル研修 講師陣

Lecture I



フレデリック・クレインス 教授(副所長) 「異文化理解の課題－他者による日本文化理解の諸相－」

歴史学者 1970 年生まれ。京都大学で博士号(人間・環境学)を取得。専門は戦国文化史、日欧交渉史。テレビドラマ『SHOGUN 将軍』時代考証を担当。

著書『戦国武家の死生観－なぜ切腹するのか』(幻冬舎新書)、『ウィリアム・アダムス一家康に愛された男・三浦按針』(ちくま新書)、『明智光秀と細川ガラシャー戦国を生きた父娘の虚像と実像』(共著 筑摩選書)、『オランダ商館長が見た江戸の災害』(講談社現代新書)、『戦乱と民衆』(共著 講談社現代新書)など

★受講する上で参考となる文献 『戦国武家の死生観－なぜ切腹するのか』(幻冬舎新書)

Lecture II



磯田 道史 教授(研究調整主幹(評価・IR)) 「外国人がみた近世日本」

1970 年、岡山市生まれ 54 歳。慶應義塾大学大学院を卒業後、茨城大学助教授、静岡文化芸術大学教授などを経て、現職。専門は日本史。

著書に映画化された『武士の家計簿』や中公新書の『日本史を暴く』など。災害や忍者の古文書調査のほか、近年では岡山城天守閣の展示を監修。日本文教出版の小学校教科書の執筆やNHK・BSの人気歴史番組の司会でも知られる。

★受講する上で参考となる文献 『外国人がみた近世日本 日本人再発見』(角川学芸出版)

Lecture III



片岡 真伊 准教授 「翻訳思考で世界をみる－自分と他者の『理(ことわり)』のあいだで－」

ロンドン大学ロイヤルホロウェイ(英文学)卒業、ロンドン大学ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン修士課程(比較文学)修了。総合研究大学院大学(国際日本研究)博士後期課程修了。博士(学術)。ロンドン大学東洋アフリカ研究学院(SOAS)シニア・ティーチング・フェロー、東京大学東アジア藝文書院(EAA)特任研究員を経て、2023年4月より現職。専門分野は日本近現代文学、比較文学。近著の『日本の小説の翻訳にまつわる特異な問題－文化の架橋者たちがみた「あいだ」』(中央公論新社、2024年)で、第46回サントリー学芸賞・第30回日本比較文学会賞を受賞。

井上 章一 所長



京都大学大学院工学研究科修士課程修了。京都大学人文科学研究所助手、国際日本文化研究センター助教授、同教授を経て現職。専門は建築史、風俗史。著書『つくられた桂離宮神話』(1986年、サントリー学芸賞受賞)、『南蛮幻想』(1998年、芸術選奨文部大臣賞受賞)『伊勢神宮』(2009年)『京都ざらい』(2015年)『ふんどしニッポン』(2022年)『ヤマトタケルの日本史』(2024年)ほか多数。

東京大学卒、イェール大学大学院博士課程単位取得退学。
(株)クラレ副社長、(株)中国銀行副頭取、倉敷商工会議所会頭、岡山経済同友会代表幹事、岡山県文化連盟会長 歴任。
現在、(公財)大原芸術財団 大原美術館名誉館長、(一社)人文知応援フォーラム理事。他に(公財)倉敷民芸館理事長兼館長、(公財)大原記念倉敷中央医療機構理事・会長など

Special Discussion



大原 謙一郎 理事